

大阪菊花会 菊の展示

毎年11月に陵南の森総合センターで開催される菊花大会は、コロナ禍にあって今年度開催は見送りとなりましたが、今年は陵南の森総合センターと市役所本館で11月2日～10日の期間展示していただきました。丹精込めて育てられた見事な菊の数々に会場は鮮やかに彩られ、訪れた方々は足を止めて魅入られました。



古市駅東広場の美化活動

古市地区花いっぱい活動の会により古市駅東広場の花壇へパンジーやノースポール、ハボタンなど、古市花ふれあい交流広場で種から育てた花苗を定植しました。地元幼稚園や保育園へ花苗を提供するなど、美化活動に取り組んでいます。



コスモスの摘み取りを行いました

10月17日(土)、応神天皇陵古墳外壕外堤のコスモス畑で摘み取りを実施しました。秋雨の中、鮮やかに咲くコスモスが、まるで秋の深まりを告げているようでした。



土に触れ、秋の味覚を収穫

9月下旬から11月初旬にかけて、約800人の児童・園児を招いたイモ掘り体験会が行われました。この会は、中川哲男さん(誉田)が、子どもたちに土のぬくもりに触れてもらいたいと、15年以上前から続けてくださっています。掘り当てたサツマイモを手にと、たくさんの笑顔が見られました。(写真：10月30日、古市小学校児童ら)



羽曳野市立学校へ抗菌マスクケースの寄贈

11月6日(金)、一般社団法人羽曳野青年会議所様より、羽曳野市立学校(全19校)に、抗菌マスクケース8,000個を寄贈していただきました。ケースは、抗菌インクが全面に印刷されており、マスクを衛生的に保管することができます。各学校で大切に使用していただきます。



世界遺産を次世代へ(寄附金の贈呈)

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の保存や活用、次世代への継承のため、株式会社池田泉州銀行様から350,000円、アサヒビール株式会社様から116,960円の寄附をいただきました。ありがとうございます。



▲池田泉州銀行本店にて(7月16日)
 ▲アサヒグループ関西オフィスにて(11月11日)

文楽素浄瑠璃 ～聴き 想像する世界～

10月24日(土)、女流義太夫 豊竹呂眞さん(本名:金銅真代 [市教育委員・河内ワイン専務])主催の「文楽素浄瑠璃にふれる会」が行われました。素浄瑠璃は、人形が付かない、太夫と三味線だけによる浄瑠璃の演奏のことで、語られる物語を聴きながら、それぞれの場面を自由に想像するなどの楽しみがあります。当日は、豊竹呂太夫師匠と鶴澤清介師匠の迫力ある語りと三味線の音色に、参加者らが自由に情景を思い浮かべ、浄瑠璃の世界を楽しみました。

写真(左から) 豊竹呂太夫師匠、鶴澤清介師匠、豊竹呂眞さん

